

全国学力・学習状況調査について

仙北市教育委員会

【はじめに】

全国学力・学習状況調査は、文部科学省を実施主体として平成19年4月24日に実施されました。この調査は、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図ることを目的としています。

調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生の国語と算数・数学で「A：主として知識」と「B：主として活用」について行った「教科に関する調査」と、学習習慣や生活状況などについての「児童生徒質問紙調査」、各学校が回答した「学校質問紙調査」を主な内容としています。

【仙北市の対応】

仙北市では、教育委員会で「『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」を定め、学校間の序列化や過度の競争につながることをないように、調査結果の数値による公表はしないことを前提にして対応してきました。また、「取扱要綱」にしたがって「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」を設置し、調査結果の分析・活用と改善策の立案に取り組んできたところです。

この度「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」から、仙北市教育委員会に報告書が提出され、これをもとに結果の分析と改善策についてのまとめを市民の皆様にお知らせできることになりました。

【結果の分析と改善策について】

「結果分析・改善委員会」の報告書は、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たしながら、学校間の序列化や過度の競争につながることをないように、調査結果の数値による公表はせず、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に役立てることを目的として作成されています。

報告書の概略は次のようになります。

1 教科に関する調査の結果

全国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学の学習状況は概ね満足できる状況である。全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年国語のA・B、算数A・B、中学校3年国語A・B、数学A・Bの8項目の全てで仙北市が上回っている。反面、「A：主として知識」と「B：主として活用」を比較した場合、各学年・教科ともに「B：主として活用」に改善の余地がある。

2 児童生徒質問紙調査の結果

全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生の学習習慣や生活状況は、いくつか改善の余地のある項目はあるものの、全体としては望ましい傾向がみられ、特に「規範意識・礼儀・思いやり」「地域への愛着・地域での生活」「基本的学習習慣・基本的学習習慣」「学習に対する意欲・学習の有用感」について望ましい傾向にあるといえる。

3 学校質問紙調査の結果

全国の状況と比較した場合、仙北市内の小・中学校では放課後や長期休業中の補充的な学習の支援及び児童・生徒の個々の習熟度等に応じたきめ細かい指導で、積極的な取り組みが行われていると言える。

4 改善策について

(1) 授業改善への取り組みとして

- ①実生活と結びついた授業への取り組み
- ②学校全体で取り組む組織的・計画的な授業改善
- ③仙北市の「子どもたち」「家庭・地域」「学校での指導」の良さを生かした授業
- ④仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策の共有化

(2) 仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

- ①地域人材の活用
- ②施設・設備の改善

(3) その他

- ①家庭・地域・学校の一層の連携

以上、報告書に示された結果の分析と改善策に基づき、今後も各学校及び教育委員会は仙北市の子どもたちに、より質の高い教育が行われるよう改善に取り組んでいきます。今回の調査結果における成果は、保護者の方や市民の皆様のご理解とご協力なくしては得られないものであります。これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも仙北市の教育に対しまして一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、報告書は平成20年2月1日から仙北市教育委員会のホームページからご覧になることができます。また、仙北市総合情報センター学習資料館、田沢湖図書館、西木公民館図書室で閲覧することができます。